

日興アセットマネジメント

リターンを犠牲にしないサステナブル投資 「環境」特化のクオンツアクティブで情報レシオ 1.39* オズモシス資源効率コア株式戦略

ESG投資に対して一部では揺り戻しにも見える動きがある中で、新たなESG投資の在り方が模索されている。この分野の先駆者で、この度日興アセットマネジメントと戦略的なパートナーシップに向けた基本合意書を締結したオズモシス・インベストメント・マネジメンのCEOベン・ディアー氏とCIOロビー・パーカー氏に、ESG投資の潮流や戦略の特徴について話をうかがった。

——ESG投資が広がりを見せる中、最近疑問視する声も聞こえます。本来別物である環境、社会、ガバナンスを一緒にすることには無理がある、といった指摘があります。

ディアー その意見には同感です。わかりにくさ、パフォーマンスの低迷など、ESG戦略の多くが抱える問題は、そもそも焦点があいまいなことに起因するのではないのでしょうか。特に「S」と「G」は地域や文化によって、何を正解とするかが大きく違います。



オズモシス・インベストメント・マネジメン
CEO
ベン・ディアー氏

その点、「E」の側面に特化した私たちのスタンスは、極めてシンプルです。お客様のニーズにかなう「解像度の高い」投資戦略をご提供しているとの自負があります。

——オズモシス社は2009年の設立以来、急成長を遂げているサステナブル投資のパイオニアです。その原動力はどこにあるのでしょうか。

ディアー 環境への負荷を計測・開示し、その抑制に成功している企業への投資がよりよいリターンを生む。私たちを支えるのは、この新しいクオリティ指標の有効性を証明したいという思いです。

**データベンダーに頼らず自前で調査
環境特化のクオンツアクティブ運用**

——「オズモシス資源効率コア株式戦略」の特徴を教えてください。

パーカー 特徴的なのは、資源効率性を示す3つのファクター「炭素の排出量」「水の消費量」「廃棄物の発生量」にフォーカスすることです。独自のク

オンツモデルから、MSCI Worldをベンチマークに資源効率性の高い（低い）企業をオーバーウェイト（アンダーウェイト）します。

ベンチマークに対する、通貨、地域、セクター、ファクター等のアクティブリスクをできるだけ排除し、銘柄選択効果のみでリスクをとっています。オズモシスでは企業を34セクターに分類し、資源効率性が比較可能な同一セクター内で銘柄をオーバーウェイト（アンダーウェイト）しており、セクター全体のウェイトはベンチマークとほぼ同じになっています。結果として純粋に環境への寄与度が高く、安定リターンを犠牲にしていない優良企業に投資することになります。

ちなみにポートフォリオ全体の炭素排出量、水消費量、廃棄物発生量は、ベンチマーク対比で60～70%も少ない。700銘柄ほどの大型株を投資対象とすることで環境へのインパクトが大きく膨らみ、同時に高い流動性が担保されることも特徴です。

——それぞれのデータを自前で入手し、10年以上データベースを運用していることに、強いこだわりを感じます。
パーカー 最初は外部の情報ベンダーからデータを買おうとしたのですが、データドリブンの運用プロセスを目指す私たちの要求水準にそのクオリティが及ばなかったのです。独自にリサーチするしかないと腹をくくりました。対象企業とのエンゲージメントは、データの開示をお願いするのが最初のステップです。継続的な開示が始まると改善へのインセンティブが働くので、自然と環境負荷を抑える方向に向かいます。データを精査しモデルに組み込むまでの労力、ノウハウともに、当社のアドバンテージは大きいと自負しています。

——資源効率性は投資パフォーマンスにどう関わるのでしょうか。

パーカー 当戦略の過去5年間の運用実績は、MSCI Worldを年率で1.16%アウトパフォーマンスしています（2023年3月末時点）。また、インフォメーション・レシオ（IR）が1.39*と、世界株式Global Large Cap Core戦略群**の中でトップ水準に達していることです。資源効率性の投資指標としての有効性については、英カーディ

*2017年5月末(運用開始)～2023年3月末 **eVestment Global Large Core ユニバース

【投資対象:日興アセットマネジメント株式会社のオズモシス資源効率コア株式戦略に合致した有価証券】●報酬等の概要:お客様にはつぎの費用をご負担いただきます。(投資顧問報酬等)固定報酬(投資信託に投資する場合を含む):現時点では未定となっております。その他費用:組入れ有価証券の売買委託手数料など。また投資信託に投資する場合、信託財産留保額、組入れ、解約等に際しての手数料等、組入れ有価証券の売買委託手数料、有価証券の保管などに要する費用、管理費用、監査費用、設立にかかる費用、借入金の利息、借株の費用などがかかる場合があります。※その他費用については、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することができません。契約に際してお客様が預託すべき委託証拠金はございません。当戦略の投資に際しては、投資一任契約に基づき投資信託に投資する場合があります。●当広告に掲載される情報は、日興アセットマネジメント株式会社が、お客様と締結する投資一任契約における運用のご参考として表示したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。●投資リスクについて:当戦略は、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、運用資産の評価額は変動し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、投資元金は保証されているものではなく、運用資産の評価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。当戦略の運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。当戦略の主なリスクはつぎの通りです。運用資産の評価額の変動要因は、つぎに限定されるものではありません。価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク、為替変動リスク、カントリー・リスク、その他のリスク等。●当資料は、お客様の投資意向を把握させて頂くことを目的として作成された資料です。当資料作成日時点で弊社が設定を決定した事実はなく、また将来の設定を約束するものではありません。内容については、今後変更される可能性があります。

日興アセットマネジメント株式会社 www.nikkoam.com/

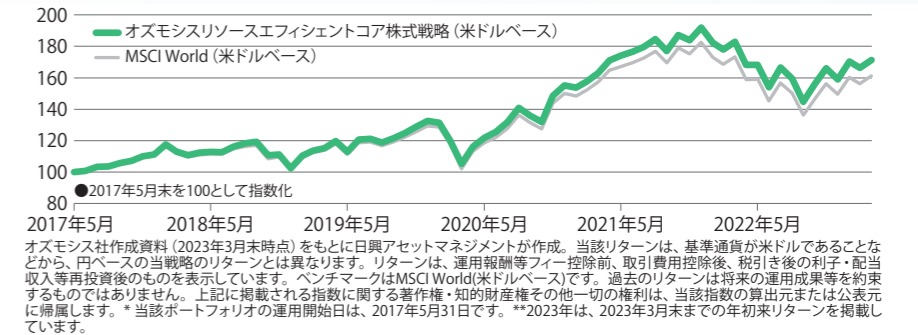
お問い合わせ先 機関投資家事業本部 電話:03-6447-6515 メール: nam.inst@nikkoam.com

〒107-6242 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会/一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

図 当戦略を代表するポートフォリオ(米ドルベース)の運用実績

累積リターン(米ドルベース) (期間:2017年5月末～2023年3月末)



フ大学の研究チームによっても実証されています。

——運用体制について教えてください。

パーカー 当初4人でスタートしましたが、今では総勢36人です。クオンツリサーチのトム・ステファン博士をはじめ、メンバーは高度な専門性を誇る精鋭ぞろいので、特筆すべきはCDP(Carbon Disclosure Project)のシニアテクニカルオフィサーを務めている、レナート・ハーマンズのご存在でしょう。資源効率性に関わるデータ開示をめぐる、長年企業などと対話してきた彼の経験値は、当社のケイパビリティを力強く支えています。

——この度、日興アセットマネジメントと戦略的なパートナーシップに向けた基本合意書を締結しましたね。最後に読者へのメッセージもお聞かせください。

ディアー 日興アセットマネジメントとは1年ほどかけて協議を重ねて、互

いへの理解も信頼関係も深まりました。世界の投資家に対して正しいことをしようという思いと、超長期の未来を展望するスタンスを共有する、願ってもないパートナーです。リターンを犠牲にすることなく、企業が取り組む環境リスク軽減にも貢献できる当戦略を、ぜひ検討していただければと思います。



オズモシス・インベストメント・マネジメン
CIO
ロビー・パーカー氏